

会議録

令和5年第3回

仙南地域広域行政事務組合
教育委員会定例会会議録

令和5年10月4日開議

令和5年第3回仙南地域広域行政事務組合教育委員会定例会会議録

1. 召集日時 令和5年10月4日(水) 午前10時
2. 召集場所 仙南地域広域行政事務組合本庁舎 講堂
3. 出席委員 教育長 船迫 邦則、委員 阿部 誠、委員 半沢芳典、委員 永井 哲
委員 佐久間 美智子
4. 欠席委員 なし

5. 説明のため出席した者

教育次長兼視聴覚教材センター所長 加藤雅章
教育委員会事務局 教育係長兼文化振興係長 山田純土、主事 三ツ澤音々
仙南芸術文化センター 参事兼館長 玉渕博之、
次長兼企画係長 山家史弘、
主査 若林あい子、社会教育主事 星井理賢、
主事 片岡翼、主事 林杏奈

6. 開 会 午前10時

7. 令和5年第2回教育委員会定例会会議録の承認について

船迫教育長	会議録について承認を求めます。
(質 疑)	<ありません>との声
船迫教育長	質疑ないものと認め、会議録を承認します。

8. 会議録署名委員の指名

船迫教育長	私のほか、阿部 誠 委員にお願いいたします。
阿部 委員	はい。

9. 報 告

報告第1号 主な事業等の経過について

教育委員会の事業及びAZ9ジュニア・アクターズ養成事業については山田係長、仙南芸術文化センターの事業については玉渕館長、片岡主事、林主事より、資料1及び事業の様子をまとめた映像にてご報告申し上げます。

(質 疑)	
佐久間委員	今のビデオを見まして、多岐にわたり素晴らしい事業を行っていて、良かったと思います。AZ9ジュニア・アクターズについて、体験レッスン10名の応募に対し、入団が7名とありますが、どういうことなのか教えてください。また、7名というのは、以前と比べて少ないのでしょうか。
加藤教育次長	AZ9ジュニア・アクターズについては、以前はオーディションという形式がありました。今は、希望する方については、全員参加いただいております。また、オーディションを止めてから昨年度まで、入団の意思のある方を対象に、入団ミーティングを行っていましたが、間口を広げる意味合いで、今年度は体験レッスンに形を変えました。その中で10名が体験レッスンに参加し、実際に入ったの

	<p>が7名となります。7名という人数についてですが、ここ5、6年の状況ですと、多い年は20名ということもありましたが、コロナ禍の年は3名ということもありました。参加者を増やすために、今年は村田町内で体験ワークショップを行ったりしましたが、今後は複数の市町で開催したいと考えております。引き続き、より参加しやすい環境を整えていきたいと思っています。</p>
船迫教育長	<p>今年から3年生でも参加できるようにし、事務局も工夫をしているようです。委員の皆様からも何か良いアイデアございましたら、いただければと思います。</p>
半沢委員	<p>あそてん！について、先ほどの映像を見て思いましたが、たくさんの親子が来て、生き生きしていて、素晴らしいと思いました。遊びの種類なども工夫されています。参加者は正直で、楽しいと思うとたくさん来るのだと思います。今の子どもたちは、以前とはニーズや思考が変わっていると思います。そこについて、あそてん！は合致していると感じています。</p> <p>これは、以前にもお話ししておりますが、えずこのサークル活動などは、幅広い年代、幼児から高齢者まで参加されている。とても工夫されて取り組んでいると、評価しています。</p>
阿部委員	<p>七ヶ宿まで事業で来ていただき、普段見ている子どもたちが、参加を楽しみにしている、また、参加してみて生き生きしている様子が見られまして、嬉しく思いました。</p> <p>それと先日、七ヶ宿町で町民運動会を4年ぶりに行いましたが、時間を短縮して行ったのが良かったという声がありまして、従来とはやり方を変えて、中身を絞ってやっていくことも大事だと思いました。</p>
永井委員	<p>どの事業も、参加者、受講生の真剣な表情、楽しそうな様子が伝わってきまして、素晴らしいと思いました。あそてん！は、多様なイベント、いろいろなことを企画していると感心しました。</p> <p>AZ9ジュニア・アクターズ、7名が参加したということで、多くはないと思いますが、子どもたちが入ってまずは安心しました。29から31期までの人数を教えてください。</p>
三ツ澤主事	<p>AZ9ジュニア・アクターズですが、29期生が9名、30期生が6名、31期生は現在6名となっています。</p>
永井委員	<p>もう1つ質問です。えずこホールの活力あふれる創造発信事業に「共催事業」という表記がありますが、それらの使用料について、教えてください。</p>
玉渕館長	<p>住民創造グループの共催事業の公演については、一部の使用料を減免しております。一方、住民創造グループの通年の練習といった活動については、使用料をいただいております。自主的な活動については、受益者負担の考えもございまして、ホール側が支援しつつ、自立型で住民さんにご負担いただきながら事業を行っております。</p>
半沢委員	<p>仙南広域の地理的状況を考えますと、幼児教育、学校もそうですが、本物の芸術に触れることは重要だと思います。アウトリーチをしていますが、2市7町に偏りがあり、十分とはいえないと思います。予算には限りがあると思いますが、本物に触れる機会が少ない子どもたちに対し、アウトリーチで積極的に出ていくこと、各構成市町の教育委員会の協力を得ながら増やして欲しいと思います。来年度以降となると思いますが、一人でも多くの子どもたちが体験できるよ</p>

	う、検討をお願いします。
玉 渕 館 長	報告は、年度の折り返しとなっておりますので、今後、丸森など回数が少ない市町でもバランスよく、計画を立て、実施してまいりたいと思います。
船迫教育長	他にございますか。ないようなので、承認したいと思いますがよろしいでしょうか。
	<全委員から「はい」の声あり>

報告第 2 号 令和 5 年度全国自作視聴覚教材コンクールの結果について

山田係長より、資料 2 にてご報告申し上げる。

(質 疑)	
半 沢 委 員	白石の水路研究会について、入選して良かったと思っています。この作品について、校長会等で紹介しましたら、市内の一部の学校で水路研究会の方をゲストティーチャーにお呼びし、とても良い内容だったと聞いております。こうした自作教材は極めて重要ですし、作った作品を現場で活用していくことが必要だと思います。郷土の資料、教材が発掘されていくことは大事なことだと思います。
船迫教育長	自作教材について活用方法を考え、多くの方々に触れていただきたいと思います。他にございますか。
阿 部 委 員	質問ですが、中学校部門というのは、中学生が作った作品というわけではないのですが、どういうことなのでしょう。
山 田 係 長	中学校部門というのは、中学生向けの作品、中学校の授業で使うような作品ということになります。
佐久間委員	村田町からの出品はありましたか。こういうコンクールがあること自体が知られていないと思いますので、もっと周知をしていただきたいと思います。
山 田 係 長	今年度については、ありませんでした。今、村田町で作られている方がいると聞いていまして、次回は出品していただけるものと期待しております。
永 井 委 員	全国で 61 作品が出品、その内、仙南地区で 5 作品が出品し、3 作品が入選ということですが、仙南地区のレベルの高さが際立っていると思いました。一方、小学校部門の最優秀は仙台市で、他の 4 作品は同じ団体ということですが、全国的に見ると、かなり出品数が少ないと言いますか、自作教材が低調だと感じています。もっと盛り上がっていくと良いと思いました。
山 田 係 長	全国的に右肩下がりの傾向があると思っています。それを活発にする機会になればと思ひまして、今月 11 日、山形県にあります北村山の視聴覚教育センターと、オンライン・ミーティングを予定しております。お互いの悩みですとか、出品数が増えるような打開策などを情報交換し、今後、活発化していきたいと考えております。
船迫教育長	自作教材について、教育長部会などでも紹介したいと思います。他にございますか。ないようなので、承認したいと思いますがよろしいでしょうか。
	<全委員から「はい」の声あり>

10. 議 事

議案第 1 号 仙南地域広域行政事務組合教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価について

令和4年度実施事業分の点検及び評価について、視聴覚教材センターの事業及びAZ9事業については三ツ澤主事より、仙南芸術文化センターの事業については若林主査、星井社会教育主事より、別紙（資料3）にてご説明申し上げます。

(質 疑)	
船迫教育長	これまで委員の皆様からご意見をいただき、今回新たな様式をまとめました。また、評価員については、今年は2名の方をお願いしましたが、今後の課題として公募なども検討していきたいと思ひます。
半 沢 委 員	<p>1点目ですが、評価をきちんとする必要があると思ひます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づいて行っていますが、教育委員会に属する事務事業を自己評価し、外部有識者に評価していただき、次年度に反映していくことになっています。全ての事務事業となりますと膨大になるわけで、それを絞り込み、何を中心に、何を重点に評価していくのか、ということが大事になるわけですね。</p> <p>2点目。えずこの報告書を読みまして、玉淵館長の前文、すばらしかったです。アフターコロナの中で、文化芸術のリアルな体験が大事になるだろうと思ひます。ですが、点検評価の様式の中で、数字を載せるところ、それと成果と課題の書き方、教材センターとえずことでそれぞれ書き方が違っていますので、どちらかに揃えるようご検討いただきたいです。議会に出す資料なので、組織として統一したほうが良いと思ひます。</p> <p>3点目。教材センターの評価の項目について見直しする必要があります。時代に合わなくなっている部分もありますので、何を重点にして点検・評価をするのかをはっきり示したほうが良いと思ひます。</p> <p>4点目。評価委員は話し言葉で話すと思ひますが、書くときは、書き言葉で書いたほうが良いです。例を上げますと、7ページの「目立つ発表」ですとか、9ページの「ななめの関係」など、一般的には聞かない、議員さんはわからない表現だと思ひますので、直したほうが良いと思ひます。</p>
阿 部 委 員	11ページ、「スポーツ分野を含めて」とありますが、どういうことですか。
玉 淵 館 長	評価員さんの発言ですので、推測の部分もありますが、お答えします。今年度、えずこホールに大河原町役場から派遣で来ている職員がいます、スポーツ分野に強い、興味関心の高い職員です、という話題がございました。一方、文化芸術の分野で、他分野連携の推進が課題にあるという話題がございました。これらについて、評価員さんがご意見くださったと思ひます。
阿 部 委 員	もう1点。6ページ、出品者が減少傾向とありますが、次年度以降に考えていることはありますか。私の考えですが、高校生でもできそうな30秒くらいの映像ですとか、高校生部門を作るなどして、増やすことができないのかと思ひます。今まで作品を作ってきた先生方ですが、歴史や地域を掘り下げ、素晴らしいものを作っていると思ひますが、今後続けていくため、分野を増やしていくために、若い人たちが出品できる環境づくりが必要だと思ひます。
船迫教育長	以前（令和元年度）、槻木小学校の児童が出品しまして、子どもたちの視点で、上手と言いますか、なかなか面白いものがありました。他に何がございいますか。
委 員 全 員	ありません。

船迫教育長	無いようですので、只今の説明に異議ないものと認め、この後、当組合議会議長へ提出することとします。
-------	--

議案第2号 仙南地域広域行政事務組合教育費一般会計補正予算（第2号）について

山田係長より、別紙（資料4）にてご説明申し上げます。

（ 質 疑 ）	<質疑なし>
船迫教育長	異議ないものと認め、原案のとおり当組合議会議長へ提出することとします。

議案第3号 仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター特別会計補正予算（第2号）について

山家次長より、別紙（資料5）にてご説明申し上げます。

（ 質 疑 ）	<質疑なし>
船迫教育長	異議ないものと認め、原案のとおり当組合議会議長へ提出することとします。

1.1. 協 議

（1）次回教育委員会定例会の日程について

山田係長より、資料6にてご説明申し上げます。

（ 質 疑 ）	<質疑なし>
船迫教育長	令和5年12月1日（金）午後2時から、次回の定例会を開催いたします。

1.2. その他

（1）その他

加藤教育次長より、当日配布資料（新聞記事）にて大規模改修工事の進捗状況について、ご説明申し上げます。

（ 質 疑 ）	<質疑なし>
---------	--------

1.3. 閉 会 午前11時50分

上記の会議の顛末を記録し、その内容が真正であることを証するためにここに署名する。

令和5年10月4日

教 育 長

署名委員